

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業計画期間	平成25年度～平成29年度																				
事業実施地区名 (都道府県名)	(おおすみ) 大隅森林計画区 (鹿児島県)	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>大隅森林計画区は鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町に位置する48,890haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林63%、天然林37%となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹ではシイ類・カン類となっている。</p> <p>当該森林計画区は、鹿児島県東部の大隅半島の最南端から北部に位置し、西部には、大籠柄岳、御岳、横岳等1,000m以上の山岳がそびえ、南部には、国見山、甫与志岳、荒西山、六郎館岳、稲尾岳等が連なっている。安楽川、肝属川、本城川等の河川の集水域である。</p> <p>また、水源かん養保安林が全体の71%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、渓谷豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源に恵まれていることから、登山などのレクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されている。また、森林資源を利用した木材加工業等も地域の重要な産業である。</p> <p>このようなことから、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源のかん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全及び森林のふれあい等、森林の持つ多面的な機能の発揮が重要となっている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">453ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>10,676ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>43.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>19.9km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>3,654,129千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	453ha			保育面積	10,676ha		路網整備	開設延長	43.4km			改良延長	19.9km	総事業費			3,654,129千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	453ha																				
		保育面積	10,676ha																				
	路網整備	開設延長	43.4km																				
		改良延長	19.9km																				
総事業費			3,654,129千円																				
費用対効果分析	総 便 益 (B)	23,377,963千円																					
	総 費 用 (C)	4,285,779千円																					
	分析結果 (B/C)	5.45																					
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	費用対効果分析の結果、定性的な評価の結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備
施行箇所：大隅森林計画区

都道府県名：鹿児島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,432,742	
	流域貯水便益	1,839,155	
	水質浄化便益	3,893,160	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,215,447	
環境保全便益	炭素固定便益	1,493,652	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	718,441	
	木材利用増進便益	87,089	
	木材生産確保・増進便益	2,217,768	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,616	
	森林管理等経費縮減便益	104,756	
	森林整備促進便益	2,369,335	
維持管理費縮減便益		4,802	
総 便 益 (B)		23,377,963	
総 費 用 (C)		4,285,779	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{23,377,963}{4,285,779} = 5.45$		

森林環境保全整備事業 大隅計画区(鹿児島県) 事業概要図



対象計画区拡大図

